

第7回大網白里市道の駅整備検討委員会 議事要旨

議 事 概 要	
名 称	第7回大網白里市道の駅整備検討委員会
年 月 日	令和7年3月10日（月） 13:30～14:55
場 所	保健文化センター 3階ホール
出 席 者	【委 員】 14名中11名出席（名簿順） 委員長 寺原 譲治 副委員長 加藤 文男 委 員 久我 一雄 委 員 山野辺 昌浩 委 員 星野 八千代 委 員 内山 信男 委 員 安川 覚 委 員 加藤岡 美佐子 委 員 手塚 智仁 委 員 齋藤 壽彌 委 員 今井 健太 【事務局】 企画政策課 課 長 飯高 謙一 副課長 久保 崇 班 長 齋藤 友康 副主査 鈴木 公治
欠 席 者	委 員 内山 充弘 委 員 市東 剛 委 員 小西 一裕
傍 聴 者	11名
議事等の概要	議 事 ①サウンディング市場調査の結果について ②立地候補地について ③道の駅基本構想（案）について ④パブリックコメントについて ⑤その他

発言者	発言内容
事務局	次第１ 開 会 ・事務局より会議成立の報告 次第２ 委員長あいさつ ・寺原委員長より挨拶 次第３ 議 事 議事① サウンディング型市場調査の結果について ・事務局より資料１「大網白里市道の駅整備に関するアイデア意見募集 サウンディング型市場調査の結果概要」により、サウンディング型市場調査の結果を説明
A 委員	《質疑応答・意見》 サウンディング型市場調査に参加した企業は市内・市外どちらの企業か。また、参加した企業の規模はどの程度か。
事務局	参加した企業につきましては、全て市外事業者となります。 規模は、建設事業者については、一部上場している大企業となります。運営事業者については、全国的にみて、どこかしらの道の駅の運営に何かしら携わっている企業となります。
A 委員	道の駅は地域振興施設であり、六次産業化などにより、市内の既存の方々が力を付け、係わり、仕事を広げていく基盤と思っている。 建物の規模や採算性、効率性などを考えると、事業者に丸投げする傾向が出てくるが、他県他市でも丸投げのようになってしまい、市の中で「何のための事業か？」ということで揉めてしまっている。道の駅という民間施設ではなく、地域振興のための施設を作るのだから、行政で頑張ってノウハウを学び、舵取りして欲しい。 まだ時間があることから、市内の事業者や農業者等が組織化し、道の駅の一部でも、その担い手になれるよう、市が本格的に支援していく必要がある。効率的に作るだけでなく、市側が骨を折り汗を掻きながら作るべきではないか。 また、時間があることを利用して戦略的な商品開発を同時に進めていただきたい。運営の中でも売る物が非常に難しい。 道の駅とみうら枇杷倶楽部では、建築から 30 年が経ち大規模

事務局	改修を行っている。行政では最初に大きく作る傾向があるが、採算性を考慮し、20年30年経っても手を加えていけるような再生産可能な施設とすべきと考える。 道の駅が儲かるという意味だけでなく、道の駅を地域の方々が必要としてくれるという意味からも、方向性や事業を事務的に決めるのではなく、行政が汗を掻いて決めていただきたい。 ご意見として承ります。 なお、資料1には事業者の意向もあり掲載できていない点もありますが、市としても六次産業化は重要な案件と考えていることから、サウンディングの参加事業者には加工場等で地元と協力しながら出来ることがないか聞き取りしております。早い段階から農業者や水産加工業者等と協力しながら、新たな商品開発等を進めていきたいと考えております。
寺原委員長	これまでの検討では、運営は共同企業体やSPCにより建設事業者と運営事業者が組んで行うという希望があったが、サウンディング市場調査のなかで建設事業者と運営事業者の立場による意見の違いはあったか。
事務局	立場による意見の違いはありました。 運営事業者としては、早い段階から運営事業者の意向が汲まれるようにして欲しいという意見がありました。一方で、建設事業者としては、運営も重要と考えているものの、まずは建設側の意向を重要視しており、設計・建設事業者を先行して決定し、運営事業者はその後に決定する方式の方が望ましい、といったご意見もありました。 議事② 立地候補地について ・事務局より資料2「大網白里市道の駅 基本構想（素案）」P29～P32により、道の駅の立地候補地について説明
B委員	《質疑応答・意見》 候補地①で整備した方が良いと思われる。市の財政が豊かであれば、他の候補地も考えられるかもしれないが、①は国有地であることから、条件次第だが借地料は安価になるのではないかと。 海の家との取合いとあったが、年々海の家も魅力あるものになくなってきており、スペースも小さくなっている。問題は無いの

	ではないかと思われる。
C 委員	今回まとめられた意見から、白里地区の特性を生かすということを見ると、海岸や海を利用しない手は無いのではないかと。ただし、地元の海の家と同じものを扱うことになり、関係性や棲み分けは難しいと思われる。調整がつくか心配である。 災害対策について地元で話をしたところ、海岸地域における高潮や津波の問題もあるが、地盤沈下でも苦労している。その点も踏まえ、10～30年スパンで考えた場合、候補地①で良いのか疑問も残るが、現時点の判断では①で仕方無いと思われる。
D 委員	絶対に海を生かさない手はないと考えられることから、候補地①が良いと思われるが、具体的な災害対策の案はあるのか。
事務局	災害対策については、今後、施設の規模や内容と合わせて必要な機能などを検討していきたいと考えております。
E 委員	候補地①に賛成である。津波対策として波乗り道路の嵩上げをしているが、宮城県名取市の閑上地区では、横断歩道橋が津波から命を救ったと聞いている。いずれは津波避難施設も整備する必要があるのならば、候補地①からの避難時に横断する産業道路に横断歩道橋を整備したらいかかと考えている。
F 委員	嵩上げ等の津波災害対策も全て行政で行うのか。
事務局	どのような対策になるかは未定だが、災害に対する何かしらの施策は必要になると考えております。 なお、津波対策の事業主体は、民間事業者との協議にも依るところはありますが、民間事業者では出来ること出来ないことがありますので、基本的には行政が行うことになろうかと思っております。
F 委員	そうした場合、候補地②に係る土地造成やインフラ整備の費用と、候補地①の津波対策の費用を比較するといかがか。
事務局	整備費用については現段階では持ち合わせておりません。 ただし、津波対策はハード対策が全てではなく、避難誘導等のソフト対策や建物の垂直避難等も踏まえて考えていくものであり、必要以上の施設を作るものではないと考えております。

F 委員	海岸での建物の高さはどの程度になるのか。
事務局	千葉県自然公園条例による規制では建物の高さ制限は13mとなります。 なお、道の駅の有無にかかわらず、津波の避難は海岸から内陸に避難することが基本的な考えとなるため、建物だけで災害に対応することは考えておりません。 自然災害については、全てハード面だけで対応するのではなく、ソフト面と組み合わせて対応することでコスト削減は可能と考えております。
F 委員	昨日テレビにて北海道東北沖の地震において、片貝でも大型の津波がくると報道されていて不安になった。海岸にできて良いが、一般の方の不安をあおるような報道もされており、そのような大型の津波から逃れることができるのか。
事務局	まず、基本的に候補地①～③まで全て津波浸水区域に入っております。あまり大型の津波を想定しますと白里地域に建物を建てるのが難しくなってしまいます。建物だけで全て対応する想定ではなく、県の調査でも示されている津波が到来する40分程度間に、安全な場所に避難するというのが基本となります。
F 委員	市として津波対策をどのようにやっていくのか、今後も説明をしていただきたい。海にきた一般の方が津波からちゃんと避難できる道の駅を作りました、と評価される道の駅を希望する。
F 委員	先ほど、地元企業の参画について意見があったが、道の駅に地元の企業が入った場合、1～2年はうまくいくかもしれないが、採算が合わなくなった段階で、もっと効率の良い外部の企業に切替えるために運営事業者から撤退を迫られることになる。そのようなことがないよう、それぞれの意見が反映されるようにしていただきたい。
G 委員	候補地①が最も良いと思われる。なお、津波対策が必要になるが、普通に建てるだけではなく、日本の技術を生かして、国の災害対策モデル地区に指定してもらうことができるような建物にできれば、P32の表中の×が○になり、パーフェクトになるのでは

	ないか。 事務局 モデル地区については現状では調査しておりませんので、この場で回答はできません。 建物につきましては、引き続きサウンディング型市場調査等により民間事業者の意見も聞きながら、どのような施設にすべきか検討し、皆様に心配をおかけすることがない施設としていきたいと考えております。
G 委員	どこにもない建物というのも話題なるのではないか。話題性も大事であり、日本初・世界初といった取組みもしていただきたい。
H 委員	皆様の税金を使う事業であり、長持ちしない施設では問題である。海が近く塩害等の心配があるが、良い部材を使う等によりその対策に太鼓判が押せるような施設であれば、長期間メンテナンスが少なく済み、良いのではないか。 また、まだ検討しなければならない事項は多々ある中で、道の駅ができた際に出品意向がある農家や、建築関係の方など様々な関係者を交えながら話合いすることで、新たな気付きが生まれるのではないか。
I 委員	白里地域の特長を生かすということであれば、海が見え、有料道路の出入り口が近く、お客様が足が運びやすいという点から、候補地①が良いと思われる。 海が近く災害の危険性があるが、日本中どこでも危険性はある。 海が近いということを生かして、海を生かしたイベントやSNS映えする魅力的なものを作ることによって集客も見込められると思われる。
J 委員	資料2のP32の比較検討表のとおり候補地①が良いと思われる。候補地①は国有地ということだが、立地の可否等については現在どの程度調べられているのか。
事務局	国有地となりますが、実際の管理は千葉県で行っております。山武土木事務所と千葉県自然保護課に道の駅の建設について協議したところ、概ね良好な回答をいただいております。
A 委員	文章の記載の仕方になるが、防災機能を持つ施設をハザードエ

寺原委員長	リアに建設するということになるため、その理由をどこかに書き込むべきと思われる。質疑の中で答えるのではなく、皆様に候補地①が良い理由を納得していただけるような記載を検討していただきたい。
事務局	候補地については①が良いという意見が多かったが、理由の記載や防災施設が必要ではないかという意見もあった。 事務局としては、ハード面だけではなくソフト面を併せて防災対策を行うということで、通常の防災機能は持つものの、津波避難タワーのような施設を作るのではなく、堤防の内側にすぐに避難できるような対応を基本とすることを考えている。 防災拠点のようなものを期待する声もあるが、堤防の外側になるため、そこをあまり強化するのではなく、津波に対しては逃げるというソフト面での対応を図るということである。
事務局	津波について様々な意見をいただいておりますが、防災ハザードマップの津波高は最大クラスの津波を想定したものとなっており、頻繁に起こるものではないことをご留意ください。 防災対策については、東日本大震災以降、ソフト面が重視されております。波乗り道路がかさ上げされており、アンダーパスも閉鎖されるようになっているため、津波警報が出た場合、まずはソフト面として避難を優先することとしております。 防災対策については、今後のサウンディング市場調査やパブリックコメントなど皆様のご意見も伺いながら検討を進めてまいります。
寺原委員長	具体的な防災機能や津波対策等は、今後の調査やサウンディング市場調査などを通じて、事業形態等と併せて検討していくということである。
寺原委員長	予定地について、資料 2 P 32 のとおり候補地①を選定することに賛成か採決をとる。 《採決》 ・賛成多数により承認
事務局	議事③ 道の駅基本構想（案）について ・資料 2 「大網白里市道の駅 基本構想（素案）」について、前回

	からの変更点として、P 1 〈はじめに〉と P29～P 32 〈(2) 立地の方針〉を追加した旨を説明。その他は前回から変更なし。 《質疑応答・意見》 寺原委員長 今回「素案」としてパブリックコメントを行い、その後に「最終案」となるのか。
事務局	今回の「素案」について検討委員会の採決をいただき、承認を得られれば「案」としてパブリックコメントにかけさせていただきます。その後、検討委員会の皆様に報告させていただき、最終的な基本構想が策定されるという流れで考えております。
G 委員	圏央道の全線開通が見込まれていることから、P 1 〈はじめに〉の中で成田空港の玄関口、世界の玄関口くらい書いてもよいのではないかと。インバウンドの取り込みではないが、外国人の方に、東京や横浜で観光した後、成田空港から帰る途中で寄ってもらうような場所になって欲しいという思いもあり、そのようなイメージを記載することは可能か。
事務局	P 1 〈はじめに〉の冒頭部分は地理的な内容を記載している部分であることから、ご意見の内容をそのまま記載することは難しいと思われます。なお、ご意見の内容から 7 行目の「外房の玄関口として…」以降の部分の修正になると思われます。この場でどのように記載できるか答えられませんが、記載内容は事務局に一任していただきたいと思います。
寺原委員長	G 委員のご意見に係る修正については事務局に一任させていただく。
J 委員	P 19 の〈6.整備・管理手法運営手法について〉の項目で、DBO 等の用語の説明を追記していただいた方が分かりやすいのではないかと。
事務局	英語での記載はしておりますが、日本語の説明についても記載させていただきます。
寺原委員長	サウンディング型市場調査結果の項目にも同様に説明を記載いただきたいと思います。

事務局	記載させていただきます。
寺原委員長	それでは、意見があった内容を修正のうえ、異議なしとしてよろしいか採決をとる。 《採決》 ・総員異議なしとして承認 議事④ パブリックコメントの実施について ・資料3「大網白里市道の駅基本構想（案）に関するパブリックコメント実施要領」に基づき説明 ・パブリックコメントの後、意見がまとまり次第、検討委員会に諮り必要な修正を行った後、最終的な基本構想としてまとめる。 ・次回は令和7年4月16日（水）を予定。 《質疑応答・意見》 周知方法はホームページ以外でも行うのか。 ホームページの他に広報4月号への掲載を予定しております。 議事⑤ その他 ・特になし 次第5 閉会
事務局	
寺原委員長	
事務局	
	-以上-